

| | | | | |
|---|---------|----------------|----|-----|
| 科目名 | 現代社会Ⅱ | 前期 | 講義 | 2単位 |
| サブタイトル | 現代社会と経済 | | | |
| 担当者 | 小沢 康英 | | | |
| [アクティブラーニング授業] | | | | |
| PBL(課題解決型) | | 反転授業 | | |
| ディスカッション・ディベート | | グループワーク | | |
| プレゼンテーション | | 実習、フィールドワーク | | |
| その他 | | 実務経験のある教員による授業 | | ○ |
| <p>[到達目標] 経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深める。</p> <p>[授業概要] 現代日本が抱える経済的諸問題について、やさしく講義する。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきた。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考えていく。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1. 少子高齢化社会と生活経済 その1(財政) 2. 少子高齢化社会と生活経済 その2(年金) 3. 財政と税制度<須磨税務署(外部講師)> 4. 社会経済を構成する主要要素 5. 企業経営の目的 6. 企業活動と社会的責任 7. 企業形態と組織 8. 製品開発と生産管理 9. 価格設定と販売促進 10. 人材の確保と育成 11. 産業社会構造の変化 12. サステナブルな生活と経済 13. 現代の経済構造の変化</p> | | | | |

| | | | | |
|--|---------|----|----|------|
| 科目名 | 現代社会Ⅱ | 前期 | 講義 | 2 単位 |
| サブタイトル | 現代社会と経済 | | | |
| 担当者 | 小沢 康英 | | | |
| <p>[成績評価方法] 授業における自立心・対話力(30%)、レポート(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持つ。 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p> | | | | |